

【消費生活用製品安全法に基づくトヨトミからの報告】

■重大製品事故一覧

管理番号	事故発生日	製品名	機種・型式	事故概要	更新日	被害状況	発生場所
					公表日		〇〇県
A201200902	2013年2月3日（平成25年）	石油ストーブ（開放式）	LC-E30	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が死亡した。調査の結果、当該製品は焼損が著しく、確認できない部品もあることから、製品起因か否かを含め事故原因の特定には至らなかった。	2013年2月15日（平成25年）	火災：死亡1名	北海道
A201200996	2013年2月24日（平成25年）	石油給湯機	DS-4000(S)	当該製品を使用中、異臭がして停止したことから、再度点火したところ、異音が生じたため確認すると、当該製品から出火する火災が発生してしており、当該製品を焼損、周辺を汚損した。当該製品内部から出火したものと推定されるが、製品の焼損が著しく、燃料漏れや動作等の確認ができないことから、出火の原因の特定には至らなかった。	2013年3月12日（平成25年）	火災	熊本県
A201300006	2013年3月16日（平成25年）	石油ストーブ（開放式）	RCA-88	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、2名が負傷した。当該製品の油受け皿から油が漏れ、出火に至った可能性があるが、当該製品を確認できなかったことから、製品起因であるか否かを含め事故原因の特定には至らなかった。	2013年4月5日（平成25年）	火災	福岡県
A201300009	2013年3月21日（平成25年）	石油ストーブ（開放式）	R-33	当該製品を使用中、当該製品から出火する火災が発生し、建物が全焼、1名が負傷した。調査の結果、当該製品に異常燃焼の痕跡は認められなかったが、事故の発生状況の詳細も不明であり出火に至ったメカニズムも特定できなかったことから、製品起因か否かを含め事故原因の特定には至らなかった。	2013年4月9日（平成25年）	火災	新潟県
A201300537	2013年9月27日（平成25年）	石油ストーブ（開放式）	RS-D30B	建物を全焼する火災が発生し、1名が死亡した。調査の結果、当該製品の焼損が著しく、事故時の状況も不明なことから、製品起因か否かを含め事故原因の特定には至らなかった。	2013年11月15日（平成25年）	火災：死亡1名	北海道
A201300538	2013年11月5日（平成25年）	石油こんろ	HH-S219E	当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、1名が死亡した。調査の結果、当該製品の使用開始時に、本体内部の電池ケースに乾電池をセット後、反射板を誤って上下逆に取付けた状態でやかんを載せて使用したことから、製品上部が閉塞され、こんろ内部に熱がこもり異常燃焼を生じ、火災に至ったものと推定される。また、当該製品の取扱説明書や反射板には上下方向の取付け表示などが無いことも事故発生に影響しているものと考えられる。	2013年11月15日（平成25年）	火災：死亡1名	北海道
A201300554	2013年11月11日（平成25年）	石油ストーブ（開放式）	RS-L21	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品は、油受け皿の穴から灯油が漏れ、置き台に溜まったホコリに灯油が染みこみ、灯油が染みこんだホコリに燃焼筒の炎が着火したものと推定されるが、火災に至る経緯が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	2013年11月22日（平成25年）	火災	鹿児島県
A201300752	2013年12月28日（平成25年）	石油ふろがま	AF-203B(N)	当該製品のタイマーをセットした後、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。製造から20年以上経過した製品。当該製品の空だき防止装置が機能しなかったため、空だき状態となって過熱状態が続き、事故に至ったものと考えられるが、空だき防止装置が機能しなかった原因の特定には至らなかった。	2014年2月4日（平成26年）	火災	北海道